

## 【受験生よ!あつかましくあれ!】

伸びる生徒は良い意味で、「図々しく、厚かましい」です。「先生が忙しそうだから質問ができなかった」そのような言い訳はそういう生徒にはありません。

ある生徒と、自習で勉強した内容を毎回先生に見せ、印鑑をもらって帰るよう、三者面談で約束しました。その時に生徒に伝えたのは

「とりあえず、どれくらいできたかの確認だけなので、数十秒で確認できる。先生が授業中だろうが、面談中だろうが、来てもらって大丈夫!」と伝えました。

これは、「先生が忙しそうにしていた」という逃げ道を防ぐのと、生徒の積極性を促す意味があります。

実際取り組んでみたところ、本当に私が面談中に突撃してきました。(ちゃんとノックはしてくれましたよ)私は面談を中断して、その子の相手を数十秒ほどしました。

毎回これがあるたびに面談中だった保護者の方に聞くのですが、「この対応は失礼でしょうか?」、そうすると「そんなことはありません。むしろ今の生徒はそんなことまでしてすごいですね。」とか「うちの子もお願いします。」と仰っていただけます。

このような受験生としての「図々しさ」や「厚かましさ」がある子は必ず伸びます。こういう取り組みをするのも当校舎の特徴です。

おおたかの森校の取り組み

勉強は「やって」終わりではなく、「できる」ところまでの確認まで行う

